

開講科目名 / Course	法学入門（日本国憲法）	
ターム・学期 / Term・Semester	2024年度 / Academic Year 2 学期 / Second	
開講区分 / semester offered	2 学期、3 学期 / Second, Third	
単位数 / Credits	2.0	
学年 / Year	1	
主担当教員 / Main Instructor	二宮 孝富	
担当教員名 / Instructor	二宮 孝富	
必修・選択 / compulsory subject	選択	
講義形態 / Class Type	講義	
授業回数	15	
科目の目的と概要	法学の基礎知識として近代市民法の基本原理を理解したうえで、市民生活にかかわりの深い、契約・損害賠償・家族に関する法を素材に、理解を深める。憲法に関しては特に人権問題に重点をおき、市民として人権感覚を磨くだけでなく、医療従事者として、患者の人権問題に的確に対応できる資質を身につける。日本国憲法について、歴史的意義・基本原理への理解をしたうえで、憲法改正が問題となっている現状について理解を深める。	
到達目標	1. 市民として必要とされる基礎的な法的知識を説明することができる。 2. 医療従事者として、患者の人権～診療契約における同意・虐待やDVの早期発見など～に配慮することができる。 3. 日本国憲法の歴史と現状の問題点を説明することができる。	
DPとの対応	1. 心豊かな人間性・倫理観、3. 看護の基盤となる専門知識・技能、4. 連携協働・リーダーシップ、5. 地域性・国際性、6. 探求心と創造力	
授業計画	01. 近代市民法の基本原理 02. 市民生活と法 1 契約 03. 市民生活と法 2 損害賠償 04. 市民生活と法 3 家族 05. 憲法とは～立憲主義について 06. 近代日本の憲法史 1 大日本帝国憲法 07. 近代日本の憲法史 2 日本国憲法の成立 08. 日本国憲法の概要 09. 日本国憲法の基本原理 1 国民主権 10. 日本国憲法の基本原理 2 基本的人権の尊重 11. 日本国憲法の基本原理 3 平和主義 12. 統治機構 13. 人権各論 1 児童虐待・高齢者虐待 14. 人権各論 2 DV 15. 人権各論 3 刑事手続と人権・冤罪	
その他の授業の工夫	憲法・民法など分野の講義が終わった段階で小テストを実施し理解度を図る。	
時間外学修	事前学修：次回の学習内容について予習する（15h）。 事後学修：配布資料と小テスト及び参考文献を用いて復習する（30h）。	
評価方法と評価割合	レポート：15% 小テスト：30% 定期試験：55%	
テキスト	テキストは使用せず、毎時間、講義資料を配布する。	
参考書	適宜、参考文献を紹介する。	
履修する上で必要な要件		
その他		
教員の実務経験	有・無	無
	内容	
教員以外で指導に関わる者の実務経験	有・無	無
	内容	
実務経験をいかした教育内容		